

## 地域コミュニティの充実

アナ： 『市長が語る 2022 三島』第12回の今日は、「地域コミュニティの充実」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 「地域コミュニティ」と言うとイメージするのが難しいですが、一体どういったものなのでしょうか。

市長： 「地域コミュニティ」とは、市民の皆さんの住む場所で自主的に作られ、交流が行われている場をいいます。

イメージしやすいのは、自治会や町内会などです。

一昨年より世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響下で思うような活動が難しい部分もありましたが、少しずつ、工夫をこらした活動が行われ始めております。

アナ： 自治会や町内会の活動といたしますと、地域の運動会などが思い浮かびますが、コロナ禍での自治会・町内会活動はどういったものなのでしょうか。

市長： 例えば、徳倉第4町内会では、通信アプリケーションのLINEを使って、密にならないようビンゴ大会を開催されました。

LINEを使用できない人は屋外の会場に一定の間隔を空けて集まり、それ以外の人はLINE上で、同時並行でビンゴを楽しみました。

私もLINEを通じてご挨拶をさせていただきましたが、LINE上では、頻繁なやりとりが行われ、新しい楽しみ方が大変興味深く、印象的でした。

また、大宮町2丁目自治会では、受付簿の管理をしっかりと行い、ソーシャルディスタンスの確保等を徹底した上で、

「町の小さな美術展」を開催されました。

私も会場に伺い、大宮町の皆さんの手作りで温かみのある色とりどりの美術品や工芸品を鑑賞させていただき、大いに癒されました。

その他の自治会・町内会でもそれぞれに特色ある活動をされています。

アナ： なるほど、コロナ禍という厳しい状況でも、皆さん知恵を絞って様々な活動をされているんですね。

市長： はい。コロナ禍で地域コミュニティの活動が制限されている今だからこそ、そのきずなを守ることは大変重要であると考えておりますが、地域のお祭りなど繋がりを絶やさぬよう知恵を絞り、コロナ対策をしながら活動をしている皆さんこそ、地域に対する愛着や誇りであるシビックプライドをお持ちであるといえるのではないのでしょうか。

三島市といたしましても、地域コミュニティの活動が円滑で活発になるよう引き続き、全力でサポートしてまいります。

アナ： 市のサポートとは具体的にどのようなものでしょうか。

市長： はい。自治会・町内会で新たに会長となった方の中には、多くの疑問や悩みを抱えながら、それを相談できずにお困りの方もいらっしゃったため、三島市自治会連合会と共催で、会長同士で悩みを相談し合う「自治会・町内会円卓トーク」を開催しております。

その中で、新任の会長さんは、会長経験が豊富な方からコロナ禍でのイベントの開催の仕方や、地域でのゴミの出し方のルールなどについてアドバイスを受け、それぞれの地域でのよりよい活動に活かしていただいております。

アナ： 会長の交代に伴って不安をお持ちの方へのサポートをされているのですね。

最後に、地域コミュニティに対する今後の展望についてお聞かせください。

市長： 新型コロナウイルスが世界的に流行してから2年余りが経ちますが、引き続き、地域のきずなづくりにつながる活動に対しまして情報の提供をはじめとする各種支援を行ってまいります。

また、従来のように地域課題を共に考えて解決していくことに加え、地域の皆さんの心身が健康であることが、その地域の幸せにつながっていくという「Well-Being（ウェルビーイング）」という視点を取り入れた事業も計画しています。

そのような支援などを通じまして、今後も、様々な分野で活動されている市民の皆さんがより活躍され、また、その活動の輪が広がることで地域のきずながより広く深くなってほしいと考えております。

アナ： 地域コミュニティの広がりや、元気で幸せな三島市に繋がっていくのですね。豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。